

市政を問う!

16 議員が登壇 (一般質問)

遊水地について



湯浅 正司

湯浅 小倉、手野の遊水地が計画されているが説明を求む。

井建設課長 小倉、手野の2ヶ所が遊水地ということで、計画が進められています。全体の状況は一昨年の7月の九州北部豪雨災害により、黒川河川の激甚災害対策特別事業というのを県が取り組むことになっております。そのメニューとして河道の改修、輪中堤、宅地嵩上と事業を進められており、遊水地については、平成2年の災害後に計画された7つの遊水地があります。内牧、小野、無田の3ヶ所は完成しております。残りとしては、跡ヶ瀬と車帰が残っているという事です。

湯浅 面積、買収金額等については。
建設課長 小倉の遊水地は、一次湛水地が21ha、二次湛水地が35ha、今回二次湛水地が30haの拡張で合計88haと聞いております。手野の遊水地は一次湛水地が8ha、二次湛水地

が42haで合計が50haです。単価については一次がmあたり26000円での買収を予定されており、二次については地役権を設定したと聞いております。

湯浅 工事はいつごろから始まるのか。また、青写真はあるのか。

建設課長 手野につきましては、7月に住民説明会を行い、8月くらいから用地交渉を始めたいということ聞いております。小倉の方は平成28年度完成を、手野の方は平成29年度完成を目指す聞いております。

湯浅 遊水地の管理等は。

建設課長 二次湛水地は通常農地としての利用で、所有者の方で管理という事になると思います。一次湛水地の部分と周囲堤、堤防、土手等の管理の方法については、今検討されているとの事です。



(予定) 小倉遊水地

手野遊水地に伴い中東部河川の拡幅を



井手 明 廣

井手 黒川激特事業における手野の遊水地に伴う、中東部河川の改修について、何回も質問してきたが、中東部河川の北側に堤防を造つたら大雨の時、中東部河川の川幅が狭いため、水がはげきらず災害が集落まで発生する恐れがある。中東部河川の川幅を4倍くらい拡幅の改修と、又下流の固定堰を転倒堰に願います。願うが、市の考えは。

井建設課長

遊水地が出来ること

で、水路あるいは道路の付け替えといった事も出てくると思いますので、県の方に後々問題が発生しないように、しっかり対応をお願いしたいと思います。遊水地を造つたところより下流部にしか効果は現さないということも聞いており、遊水地が出来たところの周囲の状況が良くなるかという点、周囲じゃなくて下流部の方にしか影響がないというふうにお聞きをいたしております。地権者や土地

改良の方の意見を十分踏まえて整備が進むよう県にお願いを続けてまいりたいと思います。

新病院の取り付け道路について

井手

阿蘇医療センターへの専用道路が非常に遅れているが、現在の進捗状況は、再度お尋ねしたい。

建設課長

地権者との交渉の段階で、ほぼ3割くらいの方と契約段階に入り、残りの方も用地へのご理解はいただいております。農地だけの買収ではなく、宅地・建物といった構造物が入っています。地権者の方は道路の建設についてはご理解をいただいております。移転も含めて平成27年度中に完成を目指しております。

井手

宮地方面からは進入しやすいが、赤水の方からは右折になり、進入しづらい。看板等の設置などの考えは。

井野病院事務局長

患者様に対する進入ルートの告知、誘導、看板の設置、警備員の配置等、事故防止のため現在阿蘇警察署と協議をしています。

他に、「災害発生時の避難所への道路整備について」の質問がありました。

新病院・仮設住宅について



河崎 徳 雄

河崎 新病院開院日は、いつか。
井野病院事務局長 8月6日水曜日です。

河崎

どのような医療体制か。

事務局長

開院時のスタッフは常勤医師4名、非常勤医師28名、看護師78名、他医療技師や事務職等の合計152名で医療業務を執行致します。

河崎

非常勤医師の常勤換算が3.5人で常勤医師と合わせて7.5人、看護師78名、何病棟、何病床ですか。

事務局長

3病棟、124床です。

河崎

導入する医療機器は。

事務局長

CT(80列)、MRI(1.5テスラ)、血管撮影装置等の高度医療機器を導入します。

河崎

平成25年度は予算上2.9億円繰り入れている。改革プランの収支計画では、27年度黒字となっているが、目標達成は大丈夫か。

事務局長

27年度の達成は厳しいと思いますが、目標に向かい職員一丸

となって早期の黒字化を目指し努力します。

河崎

再建支援住宅条例が制定され、入居期間延長の方向になりました。入居者の意向調査の結果と今後の動向は。

山口福祉課長

入居者数は、当初は48世帯145名で、調査時点では40世帯124名でした。調査結果は、期限内に退去可能世帯が19世帯で、21世帯の方が退去困難でしたので、基礎改修工事は21世帯必要です。

河崎

再建支援住宅だけでなく、みんなの家の補強も必要ではないか。

阿部住環境課長

仮設住宅と合わせて、改修のため予算を計上しておりますが、詳細については、県と協議中です。

河崎

補強工事は、市内の業者で対応できるのか。家賃は出来るだけ安くならないか。また、入居期限はいつごろになるのか。

住環境課長

専門的な工事であれば市内の建設業で対応できないか県と協議しております。家賃は、維持管理経費等も必要になりますので、同等の市営住宅家賃を勘案しながら検討して参ります。期間は、災害救助法による生活再建支援加算金の申請期限の被災後37ヶ月というのが一応の区切りと考えておりますが、再建が間に合わない方については相談しながら決めていきたいと思っております。

小中学生の医療費の無料化を



川端 忠 義

川端 阿蘇市は就学前の乳幼児は、自己負担なしの医療費の現物支給（窓口無料化）を実施しているが、小中学生は、入院が月に20000円、外来が月に10000円の自己負担となっている。自己負担の年間総額は、およそいくらか。

山口福祉課長 平成25年度の推計総額は、151万6000円になります。

川端 県下の多くの市町村が自己負担なしになっている。阿蘇市も自己負担なしにしたらどうか。

福祉課長 自己負担があることで、医療費の抑制や健康管理の意識付けにもなります。ある程度の負担は保護者としての責務だと考えます。

川端 一部自己負担があるために、現物給付（窓口無料化）も困難となっている。市長として、小中学生の自己負担をなくすことをどう考えられるか。

佐藤市長 子供は宝、未来を担っていく子ども達を健やかに育てるべく、各市町村とも厳しい財政の中、

諸施策を進めています。本来であれば熊本県が方針を打ち出すべきであり、そのように働きかけていきたいと思っています。

川端 子どもの医療費助成事務の適正化、効率化を図るために、支払基金・国保連に委託したらどうか。

福祉課長 大変な作業ではありますが、市町村ごとに財政事情も異なり、阿蘇市では現行の事務を継続していきます。

川端 阿蘇市も県内の医療機関・薬局も現物給付の対象にして、保護者の負担軽減を図つたらどうか。

福祉課長 阿蘇市以外の受診者の数が増えるだけだと思います。

川端 高校3年までの医療費助成が全国では80、県内で3自治体あるが、阿蘇市でも検討したらどうか。

市長 各自治体の方針は尊重しますが、阿蘇市としては、慎重に取り組む必要があると思います。



子ども芸術祭の様子

バイオマス実証実験事業のその後



高宮 今朝 秀

高宮 バイオマス実証実験事業の経過と成果そして今後の予定は。

阿部住環境課長 冬の野草を採草してエネルギーに利用する、バイオマスエネルギー地域システム化実験事業を平成17年から5年間NEDOの委託事業に取り組み事業は終了しました。今後の利活用については、隣接しているアゼリア21が昨今の重油代の高騰により、経営に苦慮している状況ですのでプラントを改修のうえ利活用できないか教育課と協議中です。

高宮 アゼリア21開設当時からすれば重油単価は2〜3倍ではないでしょうか。費用対効果をよく検証しなければなりません。提案です！廃タイヤ焼却ボイラーを設置したらどうかということ。阿蘇管内における自動車等のユーザーはタイヤ交換時等に廃タイヤ一本当たり処分費用として負担しているようです。ユーザーの負担は減り、加えて燃料費用も激減すると思われるが。

日田教育課長 工事費用や燃料となる廃タイヤの安定供給がどのくらいか、排ガスの関係で環境基準を満たすか等、検討したいと思っています。また、阿蘇広域行政事務組合で作られているRDFのペレットを使ったボイラー等の施設も検討しています。補助事業・経費の削減と併せて検討していきます。

定住化構想に関連して

高宮 「世界の阿蘇」の阿蘇市も人口減少が顕著です。商圏もあり阿蘇地域医療センターも出来小中学校統合も進んで暮らしやすいまちづくりができつつあります。「阿蘇市の学校で学ばせたい」そのような学校作りをお願いしたい。

阿南教育長 本年度から電子黒板を利用した情報通信技術ICT教育に取り組みます。教育環境の整備と先生の指導力の向上が不可欠であるのでその解決策に取り組みしていきます。

高宮 Iターン・Jターン者等の受け入れ対策について再度質問します。

吉良観光まちづくり課長 阿蘇市空き家バンク事業を進めているところで、市民の皆様へのバンク登録が完成したらホームページに乗せようと思っています。